



6回目の「大上ふれあいの集い」に179名が参加 北の台小、3年生全員からの心のこもった手紙に感激!!



大上自治会館



大上会館

本年度で6回目を迎えた大上地区社協主催の「大上ふれあいの集い」は、7月3日（日）に参加人員の関係から本年も会場を大上自治会館（対象区は1、2、3、4、5、7、9、10、11区で参加者124名）と、大上会館（対象区は6、8区で参加者55名）の2会場で開催された。

今回は、要援護者226名のうち109名の参加と付添者1名、そして地区社協の役員、会員69名の総勢179名が参加。

当日は両会場ともに午前11時から、大上会館は市ノ澤会長、自治会館は青副会長の挨拶で始まる。続いて北の台小学校の内藤校長の特別な計らいによる3年生全員が手紙を書き、3年生の児童代表として大上会館に5名、自治会館に6名が先生に引率されて参加。出席した要援護者の一人一人に手紙を手渡し、そして全員で「虹」の歌を披露。贈られた手紙を披露した時は感激して涙ぐむ方も出て、予想外の児童からの贈り物に皆さん感動していた。

続いて、昨年も出演して頂いて好評であった、市内寺尾南在住の演歌歌手の近野広里さんが今回もボランティアで両会場に出演、大漁唄いこみや津軽じょんがら節の曲弾きで会場を盛り上げていました。

両会場ともに参加者は、児童からのプレゼントの手紙や、演芸で楽しみ、そして昼食をとりながらの懇談で夏のひと時を楽しんでいました。



北の台小学校3年生の皆さん



熱演する近野広里さん